



## 剣道部長に丸橋珠樹人文学部教授が就任

伊藤成康経済学部教授は、業務繁多の為、剣道部長を退かれ、代わって丸橋教授にお引受け戴くことになりました。8月16日剣友会役員と剣道部師範、監督、主将、副将同席で顔合わせの会を開きました。先生から所見をお寄せ戴きました。



こともの頃には街角で、胴を竹刀にかつき、胴着で勇ましく歩む少年を目にして、多少憧れもしましたが、結局一度も竹刀を握ることがありませんでした。このたび武蔵大学剣道部の部長をと誘われたのですが、剣道の経験が全くないので、躊躇しました。

今年の夏前、大学のしらきし体育会の関係者から頼みごとがあると告げられました。「師範と監督が剣道そのものは厳しく指導するので、以下の三点をお願いしたいとのことでした。大学教員として学生の部活動が活発になるように大学内で配慮と協力を行う、学生と教員としてコミュニケーションを深める、他大学との交流にも

部長として、できるだけ参加して欲しい」という依頼でした。

昨年、一昨年と学生部長の仕事をする機会があり、教室で出会う学生とは全く違った現代の若者の一端を目にする事になりました。

今武蔵では、かなりの数の部で、名目だけの顧問あるいは不在という現状です。一方、武蔵大学は、中規模の大学ですが、意外にも一部で活躍中という種目も散見されます。

学生部長時代の経験では、部活動が活発で伸び盛りの部にはあまり問題はないのですが、消沈している部や目立つ年間活動が少ない部では、設立目的はどこへ？緩んでいるといつてよい状態があり問題を抱えているとの印象を受けました。そうした部には、部の設立目標を改めて見直し原点に帰り、部員が一丸となって、また、個々の学生が自覚をもって、互いに励まし合い、助け合う人間関係の構築が基礎となり、一生涯続く友人と生涯楽しむ技術を身につけることが大切だと論じてきました。「言うだけでなく、一つは引き受けて下さい。」とのこと、このたび剣道部部長をお引き受けすることになりました。

私が武蔵に就職してから二十年ほど経過しましたが、伊能先生とは自然科学というところで色々な面でご指導いただきました。逆二刀流をこなす 剣道の達人だと聞き知っていたのですが、就任当時は、世界各地での霊長類フィールド研究に忙しく、伊能剣士の姿を目にする機会を逸してしまいました。体調を悪くされたとき「部長をお願いできないか？」と誘われたのですが「今は海外調査が多く、それに剣道経験がないので」とお断りしたことがあります。こうして、伊能先生の昔の依頼に応えることになるのも何かの「剣縁」だと思えます。師範、監督の厳しい指導と剣友会の皆様方のご支援のもと、武蔵大学剣道部がより発展できるように、微力を尽くすつもりです。また学内の道場での稽古を目にすることから始めていきたいと考えています。

### 丸橋珠樹先生のプロフィール

お生れ : 1952年  
出身地 : 愛媛県、松山市  
出身校 : 京都大学  
ご家族 : 奥様、お嬢様 2人  
趣味 : 囲碁  
お住い : 中野区

昨年、(H17) 7月中国北京での4日間の講習会、11月ロシア連邦講習会(サンクトペテルブルグ)とヘ

ルシンキでの欧州五カ国合同稽古会(ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランドロシア)の10日間そして今年(H18) 2月、香港での

「The 6th HONGKONG ASIANKENDOTOURNAMENT」での講習会と審判そして六月、再度七日間のロシア講習会と参加してきました。現地での講習会には、全日本剣道連盟からの公式派遣の先生方を始め、日本の先生方がボランティアとして、参加され、一生懸命指導されていました。それぞれの国の参加者の一途な熱心さには、自分の剣道に対する気持ちを反省させられることが多々あります。

一例をあげると、ロシアに初めて行った時の事です、参加者の中には、1ヶ月分の給与に匹敵する経費を掛けて、サンクトペテルブルグまでバスで半日、汽車で3日、行き帰りに8日かけて参加している人：正直なところ唾然としました。だから、講習会も真剣そのものでした。剣道が好きで続けている自分でも、これだけの思いがあるだろうか

反省するところ大なるものがありました。

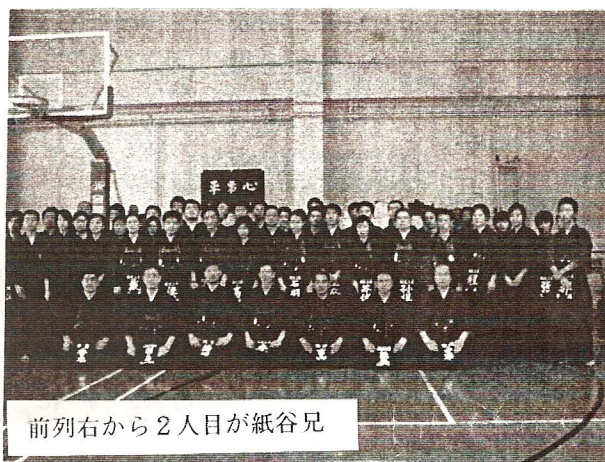
また道場での立居振舞、講師に対する態度のさわやかさ！日本では？と考えさせられる場面もしばしばありました。彼らが魅せられているのは、「正しく、強く、美しい剣道」です。環境の整った中で当たり前のように剣道を楽しんでいる日本の剣士が参加し、このような体験を通して自分の姿を見ることが素直に価値があることと思います。また、戦争の絶えない世界情勢ですが、参加しているやんちゃなかわいい子ども達も、この国の子供達も可愛い！そして親達も国を越えて暖かく交流できる場をつくるのができたら良いと異国の剣士の指導をしながらつくづく思った次第です。まさに

### 「交剣知愛」

剣友会諸氏に一言。剣道は大人になって一番遣り難い事が堂々と出来ます。

- 1、思い切り大きな声を出せる！
  - 2、思い切り汗が出せる！
  - 3、すべてのことを忘れて闘う！
- これ総て、精神安定と健康に最良。

(紙谷正之 昭44卒)



## シアトル遠征の記

平成18年2月に念願が叶い、アメリカのシアトルに在住する剣道部同期の矢部学君を訪ねました。

市内の教会の2階を借りて毎週日曜日に稽古をしていました。

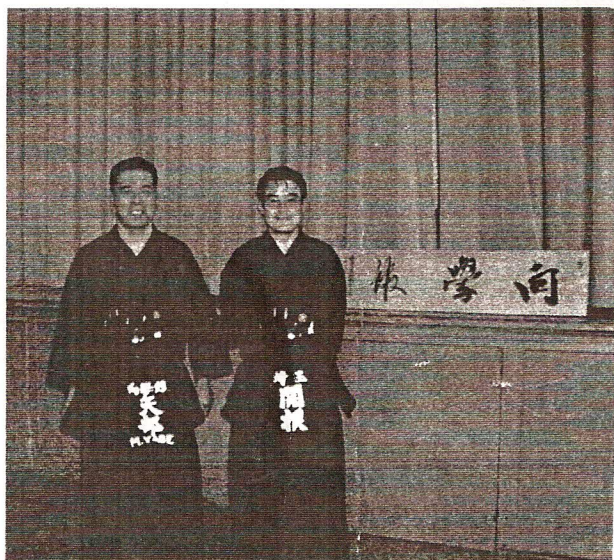
なかなか硬派の本格的剣道道場で「向学館」という名前を付けて一生懸命に稽古していました。お邪魔した時は、10名ほどの稽古でしたが、一人一人の熱心さには感服しました。

矢部君とも剣を交えましたが、構えた途端30年前にタイムスリップ・・・懐かしい思い一杯の充実した時間が過ごせました。

一方、今回ホームステイ先の高校の剣道部同級の友人が住むオレゴン州ポートランドの稽古会は、日本人学校の体育館でした。コンクリートに直接板張りの床なのでかかると痛みやすいのが難点です。ここでも少ないながら熱心に稽古をしていました。

同行の埼玉県警察学校剣道師範の為谷君の指導により、現地の剣友はかなり充実した稽古を経験出来たと大変喜んでいました。

剣友の皆さんも、シアトルにお出掛けの際は、是非矢部君に連絡してあげてください。



(関根剛 昭50卒)

昨年、(H17) 7月中国北京での4日間の講習会、11月ロシア連邦講習会(サンクトペテルブルグ)とヘルシンキでの欧州五カ国合同稽古会(ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランドロシア)の10日間そして今年(H18) 2月、香港での「The 6th HONG KONG

ONAL KENDO TOURNA MENT」での講習会と審判そして六月、再度七日間のロシア講習会と参加してきました。現地での講習会には、全日本剣道連盟からの公式派遣の先生方を始め、日本の先生方がボランティアとして、参加され、一生懸命指導されていました。それぞれの国の参加者の一途な熱心さには、自分の剣道に対する気持ちを反省させられることが多々あります。

一例をあげると、ロシアに初めて行った時の事ですが、参加者の中には、1ヶ月分の給与に匹敵する経費を掛けて、サンクトペテルブルグまでバスで半日、汽車で3日、行き帰りに8日かけて参加している人：正直なところ嘔然としました。だから、講習会も真剣そのものでした。剣道が好きで続けている自分でも、これだけの思いがあるだろうか？

反省するところ大なるものがありました。

また道場での立居振舞、講師に対する態度のさわやかさ！日本では？と考えさせられる場面もしばしばありました。彼らが魅せられているのは、「正しく、強く、美しい剣道」です。環境の整った中で当たり前のように剣道を楽しんでいる日本の剣士が参加し、このような体験を通して自分の姿を見ることが素直に価値があることと思います。また、戦争の絶えない世界情勢ですが、参加しているやんちゃなかわいい子ども達も、この国の子供達も可愛い！そして親達も国を越えて暖かく交流できる場をつくるのができたら良いと異国の剣士の指導をしながらつくづく思った次第です。まさに「交剣知愛」

剣友会諸氏に一言。剣道は大人になって一番遣り難い事が堂々と出来ます。

- 1、思い切り大きな声を出せる！
  - 2、思い切り汗が出せる！
  - 3、すべてのことを忘れて闘う！
- これ総て、精神安定と健康に最良。

(紙谷正之 昭44卒)



### シアトル遠征の記

平成18年2月に念願が叶い、アメリカのシアトルに在住する剣道部同期の矢部学君を訪ねました。市内の教会の2階を借りて毎週日曜日に稽古をしていました。

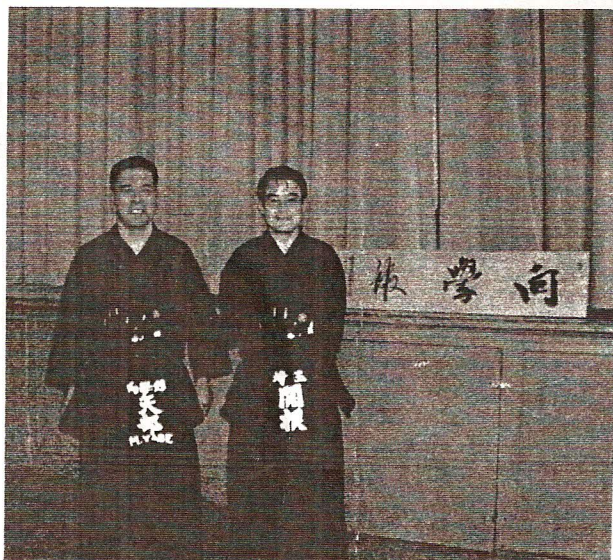
なかなか硬派の本格的剣道道場で「向学館」という名前を付けて一生懸命に稽古していました。お邪魔した時は、10名ほどの稽古でしたが、一人一人の熱心さには感服しました。

矢部君とも剣を交えましたが、構えた途端30年前にタイムスリップ・・・懐かしい思い一杯の充実した時間が過ごせました。

一方、今回ホームステイ先の高校の剣道部同級の友人が住むオレゴン州ポートランドの稽古会は、日本人学校の体育館でした。コンクリートに直接板張りの床なのでかかると痛みやすいのが難点です。ここでも少ないながら熱心に稽古をしていました。

同行の埼玉県警察学校剣道師範の為谷君の指導により、現地の剣友はかなり充実した稽古を経験出来たと大変喜んでいました。

剣友の皆さんも、シアトルに出掛けの際は、是非矢部君に連絡してあげてください。



(関根剛 昭50卒)

# 我が剣道人生 1

武蔵大学剣道部師範 酒井勝

今回は私の剣道専門科のスタートであり、まず警視庁武道専科に合格するまでの苦勞話をしてみたいと思います。

昭和47年3月29日警視庁警察官を拜命した時点で剣道専科コースを進む事に決めました。しかし簡単には進めません。まず警察学校を卒業し、警察署で交番勤務をして、当時の現任補修科(現在初任補修科)を再度卒業してから機動隊へ転勤の資格を取れます。早くして約一年、遅いと約二年位かかってしまいます。武道専科の受験資格は機動隊の武道小隊に一年以上在籍して、年齢が22歳から26歳までと決まっています。一日も早く機動隊に行かなくてはなりません。昭和47年9月21日、杉並署へ卒業配置となり、その日から、助教先生、幹部に「どうしても機動隊に行きたい」と駄々をこねました。私の熱意に負けたのか、助教先生がありがたくも折れてくれ、春の移動に合うように署長を説得して、ついに決裁を取って頂きました。今では信じられない事ですが、現任補修科抜きで、昭和48年4月5日憧れの機動隊、特科車両隊第三中隊武道小隊に転勤できました。喜び勇んで行ったところ、その当時の機動隊は学園紛争が下火になったとはいえ、まだ荒れ現場が多く、まさに命懸けの出動でした。好き好んで志願して入隊したのですが、正直言って大変な所へ来てしまったというのが、実感でした。武道小隊の稽古は、一睡も出来ない当番勤務の翌日の非番と週休日が主体です。「どうしてても武専に行くのだ」どうして

も助教になるのだ。」の信念の基に頑張りましりましたが、努力も素質も足りないのか、四九年、五〇年、五一年と不合格。とうとう年齢制限を越えてしまいました。さあ、大変です。気が動転している時に、機動隊を担当している師範から有難いことに直接電話があり、「最後のチャンスがあるが諦めないで来年もう一回受けるか」と連絡があり、「勿論です。どうしても受けさせて下さい。」とお願いました。まず機動隊長から特別推薦して頂き、特別に27歳で受けさせてもらうことになりました。昭和52年2月本当に最後の武専の試験です。しかし皮肉にも、その大事な一週間位前に不覚にも悪性の風邪を移され、熱は38度以上、体中の関節がやられてしまい、ガクガク、喉を酷くやられ、唾を飲み込むだけで痛い、食べ物は通らない。声なんか出ない。チキシヨウ、人生最大のチャンスなのにと神様を恨みました。とても稽古どころか勤務もできない状態でした。

4日間休み、試験前日になって稽古をやることになり、どうにかこうにかやったのですが、運が悪くい時には重なるもので、右踵を、完全に痛めてしまいました。歩くだけでも痛く、踏み込めば頭の芯まで響く痛さです。踵は更に痛みだし、自転車の子ューブで思いきり締め付け、サポーターをし、二次試験の試合に望みました。

五人一組で上位二名が二次試験へと進みます。一人目、六機の中村選手に簡単にストリート負け、二人目何とか引き分け、三人目、必死に気力だけで頑張るが、どうしても勝てずにまた引き分け、四人目運が良く一本勝ち。ここで私は頭の中で二番目を五機の一字選手と同点同本数で決戦だと思っていました。ところが私の試合場の一次試験合格者上位二名が発表されて私の名前がありません。スーッと血の気が引いたその時に別の会場から、私の生涯の師である 中田先生(当時、特車の助教で本部特練選手)が飛んで来て、私の会場の役員助教に「もう一度計算しろ」と厳しく抗議してくれて、その結果やはり同点同本数で決戦となりました。中田先生から「これで負けたら、今までの苦勞が水の泡だぞ。助教になれないぞ」と気合をいれて頂き、更に背中を思い切り叩いてくれました。その背中に押されたのか、それこそ死に物狂いで、どうやって

試合をしたのか記憶に無く気がついたら勝っていました。そして二次試験、踵に巻いてあったチューブやサポーターは審査にマイナスなので外してやることになったが、床に付くだけでも痛く、最悪の状態でした。気力だけでやりましたが、内容は自分でも分かっていたが、内が最悪でした。二次試験の発表が遅く、受験者がイライラして待っていました。それもその筈です。これは後で聞いた話ですが、隊長特別推薦をもらって最後のチャンスの私の結果を先生方(教養課剣道指導室の師範)が激論していたそう。「特車の酒井を不合格にしたら剣一筋のあいつが自殺でもしてしまう。」との話まで出たそうです。そして、先生方の有難いお気持、お情けで私の点数まで下げて、二次試験合格者の発表がありました。「あった。私の名前が。」思わず涙が出ました。

三次試験は目を改めまして、論文、面接、身体検査等があり、やっと大願中の大願、武道専科に合格し、晴れて第十二期武道専科生となりました。

(次頁下段に続く)

# 職場探訪

## 警視庁特集

ここは、会員の近況をお知らせするコーナーです。現在、警視庁では、笹岡秀次（昭51卒）、富田真一（平3卒）、猪股睦（平11卒）、古川大輔（平13卒）、小松哲（平14卒）の五名の会員が、働いておられます。笹岡、小松の両氏から近況が寄せられました。

平成13年度卒 小松 哲

私は現在、港区は新橋、汐留地区、虎ノ門等を管轄します「警視庁愛宕警察署」に勤務しております。平成15年4月に警視庁巡査を拝命し、半年間の警察学校生活の後に当署に着任し、第一線に出てからは間もなく丸三年の月日が経とうとしております。

私は着任以来、当署管内にありまます東京のシンボル「東京タワー」の麓、東京タワー前交番の勤務員として警察人生を歩み始めました。毎日、季節により違った表情を見せる東京タワーを見上げながら、東京タワー周辺の犯罪抑止は勿論、東京タワーを見学に来た修学旅行生、外国人観光客、カップル家族連れなどに對します各種応接に努めて参りました。

今年になってからは、交番勤務の傍ら、専らパトカー乗務員として、その機動力を活かしたパトロール活動と、管内全般における車件・事故の取扱いに携わっております。特に、不審車両の追跡時や、一〇番指令を傍受して現場に向かう際は、赤色灯を点けてサイレンを鳴らし、一般道の法定（指定）速度を越えて一刻も早い不審車両の確保や現場到着に努めなければならず、常に緊張は絶えません。自分の運転技術や職務質問技能はまだ未熟であるのは確かです。時折テレビ番組で放送されます「列島警察24時」に出てくるパトカー乗務員の様に、「車のすべてが思うように進む」とは中々いかないのが現実です。しかし、パトカー乗務経験の長い相勤員の先輩から、取扱い毎に様々な御指導を

賜りながら、管内の犯罪抑止を第一に、そして、自分の職務レベルの向上に日々厳しく取り組んでおります。一方、この会社に付き物の剣道はと申しますと、私は着任以来、署の剣道特練選手として各種大会に出場させて頂きました。今年7月に行われました署対抗剣道大会の特練では、今年9月に機動隊に移動するかもしれないということ、「愛宕での剣道特練は今回が最後」という気持ちで、己と暑さに負けず、人一倍稽古に取り組みました。しかし、本番ではあまり自分の納得のいくような試合ができません、然程チームの勝利にも貢献出来なかったため先生、チームメイト、そして全署員の期待に応えることのできなかつた歯痒さだけが残り、愛宕で最後にして少し悔いの残る特練となってしまうました。

試合を終えた今日は、勤務前、平日毎朝7時半から概ね30分間しか稽古する時間がなく、勤務の都合上、毎日稽古に参加できるといふわけではありません。しかし、今大会での自分の結果を真摯に受け止め反省し、稽古に参加できる時は少ない稽古時間の中で、貪欲に稽古に励んでおります。私が今、警察官として充実した毎日を通してありますのは、

今まで私に関わって下さった、全ての方々のお陰であると思っております。特に、大学四年間、剣道部で得ました様々な経験と沢山の思い出は、今となっては私のおかげがえのない大きな財産となり、仕事のあらゆる場面で自分をバックアップしてくれる「陰の相勤員」にもなっております。

私は、今までお世話になった方々、特に大学一年時、高校三年のブランクを心配しながらも「剣道部」への入部を快諾して下さい、私を四年間「武蔵大学」へ通わせて下さった両親、そして大学四年間、剣道部でお世話になった先生方、先輩方、同期、後輩に對します「感謝」の気持ち忘れず、自分が警察官として活躍し、成長し続ける事で、以上の皆様に少しでも恩返しができるように、これからも微力ではありますが、東京都の治安回復と平和に向けて、日々精一杯努力していく決意です。

### 「側に居てくれた剣道」

昭和51年度卒 笹岡 秀次

警視庁に勤務して今年で30年、現在、私は、中野区内にある野方

警察署で勤務しております。署内の留置場が勤務場所であり、常時20人から30人程の犯罪者、容疑者を相手にしている仕事であります。

コソ泥から大泥棒、高校生からヤクザ者まで千差万別、色々な人間を相手にする仕事であり、メンタル面で極めて厳しいものがあります。

剣道は、仕事の合間を見て署の道場で稽古をするのですが、思うように時間がとれずにいるのが現状であります。

野方警察署剣道部の一員として、署の代表チームの主将として各種大会に出場したり、普段は、若い警察官を引っ張り出して稽古をつけたりと、野方警察署内において「剣道の笹岡」として知られる存在となっております。

今まで（30年間）の警視内での試合記録から、私の試合勝率は8割を越える成績です。（自慢です。）

60歳の定年まであと8年、この勝率を守り通す事、そして、現役で対外試合に出場し続けることを目標に、今後も頑張っていきたいと思っております。

警視庁に奉職し30年、色々な仕事をしてきました。機動隊勤務で日航ジャンボ機墜落現場救助活動をしたり、若い頃は、捜査係刑事

として暴力団とやり合い、要人の警護官として世界18カ国を訪問したりと、それこそ警察内のありとあらゆる仕事をしてきました。

そんな30年ですが、常に剣道が側に居てくれたからこそ続けられたのです。今現在も剣道は、私を見つめる為のものであり、同時に、何時でも頼りになる友人のような存在であります。

『剣道、ありがとうございます。そしてこれからも、よろしくお願いします。』

## 『自然館 逍遙』

打木城太郎著「自然館逍遙」が、発刊間近です。

打木氏は、昭和2年生まれ、24年に旧制武蔵高等学校を卒業しました。

私立城北高校、千葉工業大学、立教大学等で教職に就き、英文学を教えて来られました。日本英文学会会員、日本ロレンス協会会長を歴任されました。

このエッセイをお読み戴ければ解るように、長年剣道に親しみ、教士七段。居合道教士六段。

氏は数年前、山梨市に、居を移し、広い敷地の中に道場『自然館』を設け、なじみの剣客を招いたり、地元の中学生に稽古を就けたりの日々を送っておられます。その傍ら、書き溜めたエッセイを纏めて、A六版の小冊子にして発刊することとなりました。主として剣道に題材を求めた、心温まるエッセイです。お楽しみに。

## 村田淳一兄 北海道へ

6月15日から、下記へ移転します。

と言う便りを村田淳一兄から受け取った諸兄も多い事と思います。

北海道へ隠遁するという知らせを受けて、水木先輩の発案により、5月20日、新宿歌舞伎町の『初もみじ』で壮行会を、開催しました。

集まりましたのは、ご当人、長谷川兄、土屋兄、水木兄、そして松井。「その年になって、何が悲しくて北海道くんだりへひっこすんだ」「この冬越したら、寂しくて、来年には、逃げ帰ってくんじゃねーのか」

酔いが廻るにつれ、激励とも冷やかしくとも解らぬ事で、散会しましたが、村田兄には、剣友会オリジナルの「剣友マグカップ」を呈呈して壮行した次第です。

8月、村田兄より届いた「シベチャリ便り」には、美術館の事や混声合唱団の事が書いてあり、元気に過ごしておられる様です。しかし、「遊びに来てね・・・」と言われて、おい、それ！と行ける処じゃ無いしね。

住所 phone 10007

北海道日高郡新ひだか町

静内清水丘91-18

0146-45-0232

## のむさんの「豆知識」

### 中墨

先日の明鏡杯と云い、関東学生優勝大会と云い、その内容は、非常に素晴らしいものであった。評価出来る点は、多々在ったのであるが、形として目に見える点で言えば、各選手とも、ほとんど中墨を外さなかったことである。

中墨とは、本来大工さんが原木の中心をとるため、墨糸で印を付ける糸目のことを言うのであるが、原木であるが故に様々な向きを持っていて、中々中心をとることが難しい。

同じ様に、人間相手の剣道は決まった形が在るようで、変剣難剣と、これ又、多様であり、その中墨をとるのは、難しい。

しかし、どんな変剣、難剣に對しても、はたまた強敵相手にしても、中墨を取らない限り、勝つことは、不可能である。勝たんが為に、竹刀を上下左右にウロチョロさせる様な小手先剣道では見苦しいだけで風格も何も在ったものでは無い。

転じて、中墨を取る剣道を心掛けることは、人の生き方にも中墨を取るこの大事を教えている。

野村泰久監督が剣道に纏わる用語をやさしく解説します。

世渡り上手にウロチョロするよ  
うな生き方は、他人から見れば、  
何の風格も感じられない、肩書  
頼りの情けない人間にしか見えな  
い。

中墨を外さない。つまり人間としてやるべきことの本質を外さない生き方をして人間は、その持っている肩書に係わり無く、風格のある、堂々たる生き方をして  
いるものだ。最近、とみにそのこと  
を強く感じる。

「剣道とは剣の理法を通じての人間形成の道である」と言われるが、この中墨の事一つを考えても  
剣道の稽古が、単に竹刀を振り回す事に練達することのみでは無い  
と、確認出来るのである。

今後数回に亘り「豆知識」として、剣道について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

## ホームページ作成中

佐藤則夫学連幹事(昭51卒)を中心に「武蔵大学剣友会」のH.P.を作成してあります。

剣友会のスケジュール、会則、会費の納入状況、慶祝、訃報、剣道部の活動等、タイムリーにお知らせ出来るようになります。HPアドレスは下記です。

# 秋期試合に夏合宿の成果

剣道部の秋の試合は、9月3日玉川学園で開催された、「明鏡杯」でスタートした。

8月27日迄合宿を実施し、疲労が残っているのではと心配されたが、5チームで戦ったブロック予選は、全勝して決勝トーナメントに進んだ。決勝は玉川学園に惜敗し3位となったが、選手一人一人は、合宿以前に比べ、格段に力をつけた。

又、9月10日、日本武道館で開催された、関東学生剣道選手権大会では、1回戦、横浜市立大に4勝2敗で勝利し、2回戦に進んだ。東海大学には、1勝3敗と奮闘した。

注目の四大学剣道大会は来る10月21日(土)に学習院大学で、開催される。大勢の応援をお願いいたします。

## 明鏡杯

### 第一試合

石川	武蔵大	成城大
野川	藤野	橋本
中野	佐藤	美村
三船	中島	猿渡
中沢	船下	野口
星野	沢下	金澤
一勝	一勝	一勝
岩	金	澤
方	澤	方

### 第二試合

石川	武蔵大	獨協大
野川	藤野	水谷
中野	佐藤	水谷
三船	中島	武藤
中沢	船下	小峰
星野	沢下	生駒
一勝	一勝	一勝
山	工	藤
来	来	来

### 第三試合

石川	武蔵大	武蔵野
野川	藤野	豊倉
中野	佐藤	谷ヶ崎
三船	中島	津波
中沢	船下	谷古
星野	沢下	金野
一勝	一勝	一勝
藤	澤	田
田	澤	田

### 第四試合

石川	武蔵大	上智大
野川	藤野	立花
中野	佐藤	岩田
三船	中島	宮沢
中沢	船下	宮沢
星野	沢下	末廣
一勝	一勝	一勝
藤	廣	田
田	廣	田

## 決勝トーナメント

石川	武蔵大	玉川大
野川	藤野	石川
中野	佐藤	儀川
三船	中島	野村
中沢	船下	岡野
星野	沢下	石岡
一勝	一勝	一勝
山	反	来
来	来	来

## 関東学生剣道大会

### 第一試合

石川	武蔵大	横浜市立大
野川	藤野	阿部
中野	佐藤	土岐
三船	中島	桜井
中沢	船下	本井
星野	沢下	市川
一勝	一勝	一勝
市	櫻	川
川	井	川

### 第二試合

石川	武蔵大	東海大
野川	藤野	高見
中野	佐藤	市川
三船	中島	林川
中沢	船下	合川
星野	沢下	荒井
一勝	一勝	一勝
勝	荒	連
連	井	連

## 日暮道生氏(昭39卒)

### 同窓会長に就任

日暮道生氏は、本年6月4日の同窓会総会に於いて、会長に就任されました。氏は、副会長時代から、地方組織の充実に力を入れておられ、就任早々、釧路での支部総会に出席され、酒井花先輩等と楽しい語らいの時間を過ごされました。会長就任後も「この仕事は続けるよ」と言っています。地方在住の会員諸兄は、氏の来訪をお楽しみに。

武蔵大学剣友会 平成17年度  
会計報告及び平成18年度予算

平成18年7月22日  
武蔵大学剣友会  
会計幹事大竹茂雄

項目	H17決算額	H18予算額
前年度繰越額	622,128	707,369
収入の部		
口座振替年会費	957,000	957,000
振込他年会費	208,000	200,000
預金利息	9	0
その他	38,268	20,000
小計	1,203,277	1,177,000
収入の部合計	1,203,277	1,177,000
支出の部		
関根先生謝礼及び先生方中元歳暮	77,205	78,000
OB冬合宿及び現役夏合宿時先生方謝礼	140,000	140,000
監督年間交通費 (H17は未払によりH18は2年分)	0	100,000
新人勧誘費援助金	36,120	30,000
現役支払OB連絡費他 負担金	50,000	50,000
OB会扱いOB連絡費他	78,808	50,000
学連剣友会 大会参加費他	68,000	68,000
学連剣友会 申込金	59,000	59,000
明生ビジネス、郵便為替取扱手数料	24,150	25,000
新聞発行費用	41,637	50,000
鹿島神宮香取神社お祓料他	39,052	40,000
OB冬合宿追加費用	6,699	5,000
夏合宿下見費用	73,681	0
卒業生寄贈及びOB剣友会加入 名札代他	34,060	30,000
昇段 記念品	16,975	30,000
慶弔見舞	4,725	15,000
先生用 防具代	120,000	0
寄贈用マグカップ代	203,780	0
剣友会ホームページ開設費用	0	50,000
その他	44,144	30,000
支出の部合計	1,118,036	850,000
次年度繰越額	707,369	1,034,369
平成18年6月30日現在預金、現金内訳		
みずほ銀行 渋谷中央支店	632,767	
三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	51,069	
渋谷郵便局	23,533	
合計	707,369	

監査報告書

平成17年7月1日～平成18年6月30日の会計年度における当会の収入、支出に  
関し調査した結果、正確であることを認めます。

監査 手塚 哲男





# 剣友会総会 開催される

去る7月22日(土)午後1時30分より、武蔵大学構内「武蔵クラブ」で武蔵大学剣友会総会が開催された。大阪から参加の伊藤巖氏(昭42卒)を始め13名の会員が参加、松井幹事長より本年度の活動予定、大竹会計幹事より17年度決算報告、18年度予算案の説明があった。剣道部からは高山副務、飯島会計係がオブザーバーとして参加し、剣道部の今年4月から6月までの活動と会計の説明があった。既に「夏合宿」まで経過したが、本年度の予定は、下記の通り了承された。全会一致で了承された、17年度決算報告、18年度予算案は、次頁に掲載。

## 年間行事予定

7月22日 総会

- ・17年度決算
- ・18年度予算
- ・18年度役員

会長	土屋一徳(昭39卒)	会計	大竹茂雄(昭56卒)
副会長	紙谷正之(昭44卒)	学連	関根剛(昭50卒)
監査	手塚哲男(昭42卒)		佐藤則夫(昭51卒)
幹事長	松井邦夫(昭46卒)		
副幹事	高田寿(昭51卒)		
	三木真人(昭60卒)		

27日 年会費自動引落日  
8月 機関紙「和」発行

- ・A4判8ページ 約300部
- ・本年度は1回発行
- ・掲載記事 17年度決算 18年度予算 新会員紹介 新部員紹介 海外の剣道事情 その他

26~27日

夏の合宿 剣道部、剣友会合同合宿

実施場所 長野県南佐久郡川上村  
ご指導の先生 竹内三郎先生(警視庁)  
松森信秀先生(警視庁)  
吉続干城先生(神奈川県警)  
小山潤先生(神奈川県警)

12月3日

東京学連剣友剣道大会

- ・「竜王杯」7名(補2名) 1チーム
- ・「鳳凰杯」5名(補2名) 1チームを登録

未定  
1月21日

関根杯・伊能杯 終了後納会(剣友会の忘年会も合同で開催いたします)  
鹿島神宮、香取神社参拝、伊能先生墓参  
参加者 酒井師範、野村監督、主将  
土屋会長、松井幹事長 その他希望者

中旬

「冬の合宿」お知らせ発送 約50通

2月

追出稽古・コンパ

- ・入会証、名札(垂れネーム・18年度は4名)、  
剣縁マグカップ、写真帳 贈呈

25~26日

「冬の合宿」

- ・実施場所 千葉県千倉町 総合運動公園(予定)
- ・指導の先生 西川清紀先生(警視庁)  
竹内三郎先生(警視庁)  
酒井勝先生(警視庁)  
松森信秀先生(警視庁)

(予定)

その他通年の活動

- ・六段、七段昇段祝
- ・毎週土曜日稽古会 稽古会お知らせ発送(2ヵ月毎 約50通)
- ・幹事会 2ヶ月に1回以上開催
- ・ホームページの開設(担当者、経費等)
- ・対外試合、合同稽古(定期化)
- ・弔電
- ・祝電

※ 去る、8月19日 福島市国体記念体育館で開催された「剣道七段審査会」で当会員 管野昭浩兄(昭60卒)が七段に合格しました。記念稽古会と記念品(3万円相当)贈呈式を11月18日に予定しています。因に、兄の六段昇段祝いは、剣道部創部40周年記念式典で行いました。